

# 第39回インフォメーション・ミーティング

## 付 属 資 料 集

2020年12月9日（水）  
株式会社 山梨中央銀行

## 付属資料

➤ 当行プロフィール	2
➤ 2020年度中間決算の概況	3
➤ 自己資本比率の状況	5
➤ 資本配賦の状況	6
➤ 従業員数・店舗数の推移	7
➤ 預金の状況	8
➤ 貸出金の状況	10
➤ 業種別貸出金（ローンポートフォリオ）	12
➤ 規模別・地域別貸出金残高（未残）	13
➤ リスク管理債権	14
➤ 金融再生法開示債権	15

➤ 債務者区分の遷移	16
➤ 預金・貸出金シェアの状況（山梨県内）	17
➤ 有価証券ポートフォリオ	18
➤ マーケット別収益状況	20
➤ グループ会社一覧	21

## 山梨県の経済

➤ 山梨県内の地場産業	23
➤ 高速交通網の整備	24
➤ 最近の県内経済動向	25
➤ 山梨県経済の特性・構造	32
➤ 山梨県の県勢・経済指標	37

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。

## 会社概要 (2020年9月末現在)

【創 業】	1877年(明治10年) 4月
【創 立】	1941年(昭和16年) 12月
【本店所在地】	甲府市丸の内1丁目20番8号
【資 本 金】	154億円
【従 業 員 数】	1,693人
【営業店舗数】	本支店・出張所 92 (山梨 75(※)、東京 16、神奈川 1) 法人営業所 1(練馬) 海外駐在員事務所 1(香港) ※うち、インターネット支店 1
【指定金融機関受託状況】	山梨県、県内27市町村中23市町村



本店

## <経営理念>

# 「地域密着と健全経営」

当行は、地域に根ざし、地域社会の繁栄と経済発展に寄与するとともに、お客さまから信頼していただける健全な経営姿勢を堅持し、経営内容の充実に努めてまいります。

## 2020年度中間決算の概況 ①

(百万円、%)

	18/9期 (中間期)	19/9期 (中間期)	20/9期 (中間期)	19/9期－18/9期		20/9期－19/9期		
				増 減	増減率	増 減	増減率	
平	資金運用勘定	2,921,421	2,906,541	<b>3,188,866</b>	△ 14,880	△ 0.50	282,325	9.71
	うち貸出金	1,608,959	1,686,413	<b>1,846,887</b>	77,454	4.81	160,474	9.51
	有価証券	1,203,571	1,130,179	<b>1,213,965</b>	△ 73,392	△ 6.09	83,786	7.41
	コールローン	21,692	4,458	<b>3,318</b>	△ 17,234	△ 79.44	△ 1,140	△ 25.57
	預け金 (除無利息分)	73,941	72,210	<b>109,004</b>	△ 1,731	△ 2.34	36,794	50.95
残	資金調達勘定	3,095,895	3,257,058	<b>3,513,514</b>	161,163	5.20	256,456	7.87
	うち預金等	2,960,707	3,021,488	<b>3,187,670</b>	60,781	2.05	166,182	5.50
	コールマネー	12	5,794	<b>62,431</b>	5,782	48,183.33	56,637	977.51
(参考) 金銭の信託	－	1,147	<b>9,999</b>	1,147	－	8,852	771.75	
利 回 ・ 利 鞆	資金運用利回	1.03	1.03	<b>0.92</b>	0.00		△ 0.11	
	うち貸出金利回	0.98	0.92	<b>0.88</b>	△ 0.06		△ 0.04	
	有価証券利回	1.19	1.24	<b>1.07</b>	0.05		△ 0.17	
	コールローン利回	0.45	1.60	<b>0.11</b>	1.15		△ 1.49	
	預け金利回	0.09	0.09	<b>0.09</b>	0.00		0.00	
	資金調達利回	0.02	0.02	<b>0.01</b>	0.00		△ 0.01	
	うち預金等利回	0.01	0.01	<b>0.01</b>	0.00		0.00	
	コールマネー利回	2.18	△ 0.04	△ <b>0.03</b>	△ 2.22		0.01	
	借入金利回	0.03	0.01	<b>0.00</b>	△ 0.02		△ 0.01	
	経費率	0.90	0.84	<b>0.80</b>	△ 0.06		△ 0.04	
資金調達原価	0.89	0.81	<b>0.74</b>	△ 0.08		△ 0.07		
預貸金利回差	0.97	0.91	<b>0.87</b>	△ 0.06		△ 0.04		
資金運用・調達利回差	1.01	1.01	<b>0.91</b>	0.00		△ 0.10		
預貸金利鞆	0.07	0.06	<b>0.07</b>	△ 0.01		0.01		
総資金利鞆	0.14	0.22	<b>0.18</b>	0.08		△ 0.04		

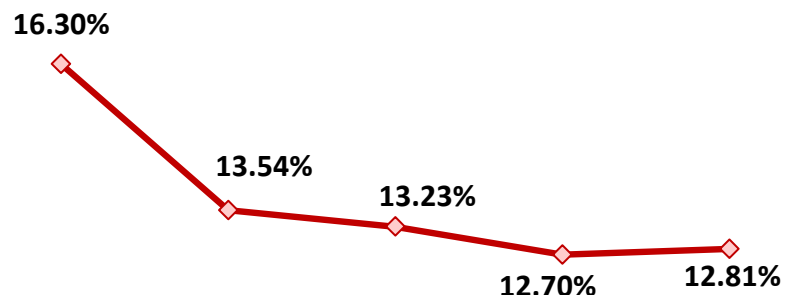
## 2020年度中間決算の概況 ②

(百万円、%)

		18/9期 (中間期)	19/9期 (中間期)	20/9期 (中間期)	19/9期－18/9期		20/9期－19/9期	
					増減額	増減率	増減額	増減率
損	資金利益	14,773	13,286	<b>14,555</b>	△ 1,487	△ 10.06	1,269	9.55
	うち貸出金利息	7,909	7,859	<b>8,157</b>	△ 50	△ 0.63	298	3.79
	有価証券利息	7,185	5,703	<b>6,533</b>	△ 1,482	△ 20.62	830	14.55
	コールローン利息	49	35	<b>1</b>	△ 14	△ 28.57	△ 34	△ 97.14
	預け金利息	36	36	<b>54</b>	0	0.00	18	50.00
	役務取引等利益	2,287	2,387	<b>2,423</b>	100	4.37	36	1.50
	その他業務利益	985	△ 243	△ <b>657</b>	△ 1,228	△ 124.67	△ 414	△ 170.37
	うち国債等債券関係損益	1,207	△ 8	△ <b>594</b>	△ 1,215	△ 100.66	△ 586	△ 7,325.00
	一般貸倒引当金繰入額	－	△ 177	－	△ 177	－	177	100.00
	経費	13,365	12,875	<b>12,847</b>	△ 490	△ 3.66	△ 28	△ 0.21
	業務純益	4,680	2,733	<b>3,474</b>	△ 1,947	△ 41.60	741	27.11
	修正業務純益	4,680	2,555	<b>3,474</b>	△ 2,125	△ 45.40	919	35.96
	コア業務純益	3,473	2,564	<b>4,068</b>	△ 909	△ 26.17	1,504	58.65
除く投信解約損益	1,863	2,564	<b>4,068</b>	701	37.62	1,504	58.65	
益	臨時損益	△ 1,042	743	△ <b>1,222</b>	1,785	171.30	△ 1,965	△ 264.46
	うち貸倒引当金戻入益	24	－	<b>94</b>	△ 24	△ 100.00	94	－
	株式等関係損益	1,794	1,276	△ <b>1,229</b>	△ 518	△ 28.87	△ 2,505	△ 196.31
	投資信託解約損	2,745	－	－	△ 2,745	△ 100.00	－	－
	不良債権処理額	32	556	<b>23</b>	524	1,637.50	△ 533	△ 95.86
	経常利益	3,638	3,477	<b>2,252</b>	△ 161	△ 4.42	△ 1,225	△ 35.23
	特別損益	△ 32	△ 149	△ <b>192</b>	△ 117	△ 365.62	△ 43	△ 28.85
	法人税、住民税及び事業税	782	807	<b>592</b>	25	3.19	△ 215	△ 26.64
	法人税等調整額	152	348	<b>336</b>	196	128.94	△ 12	△ 3.44
	中間純利益	2,670	2,171	<b>1,130</b>	△ 499	△ 18.68	△ 1,041	△ 47.95

(注) 20/9期から投資信託解約損益にかかる表示方法の変更を行っており、19/9期は組替後の計数です。

### 自己資本比率の推移



自己資本比率12.81%は  
国内基準適用行54行中 第1位

(当行調べ)

17/3      18/3      19/3      20/3      20/9

### 自己資本額の内訳

(億円)

	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	20/9期
自己資本額	1,756	1,729	1,775	1,781	1,786
リスク・アセット等	10,768	12,766	13,415	14,023	13,938

#### リスク・アセット等の算出方法

信用リスク	標準的手法
オペレーショナル・リスク	粗利益配分手法

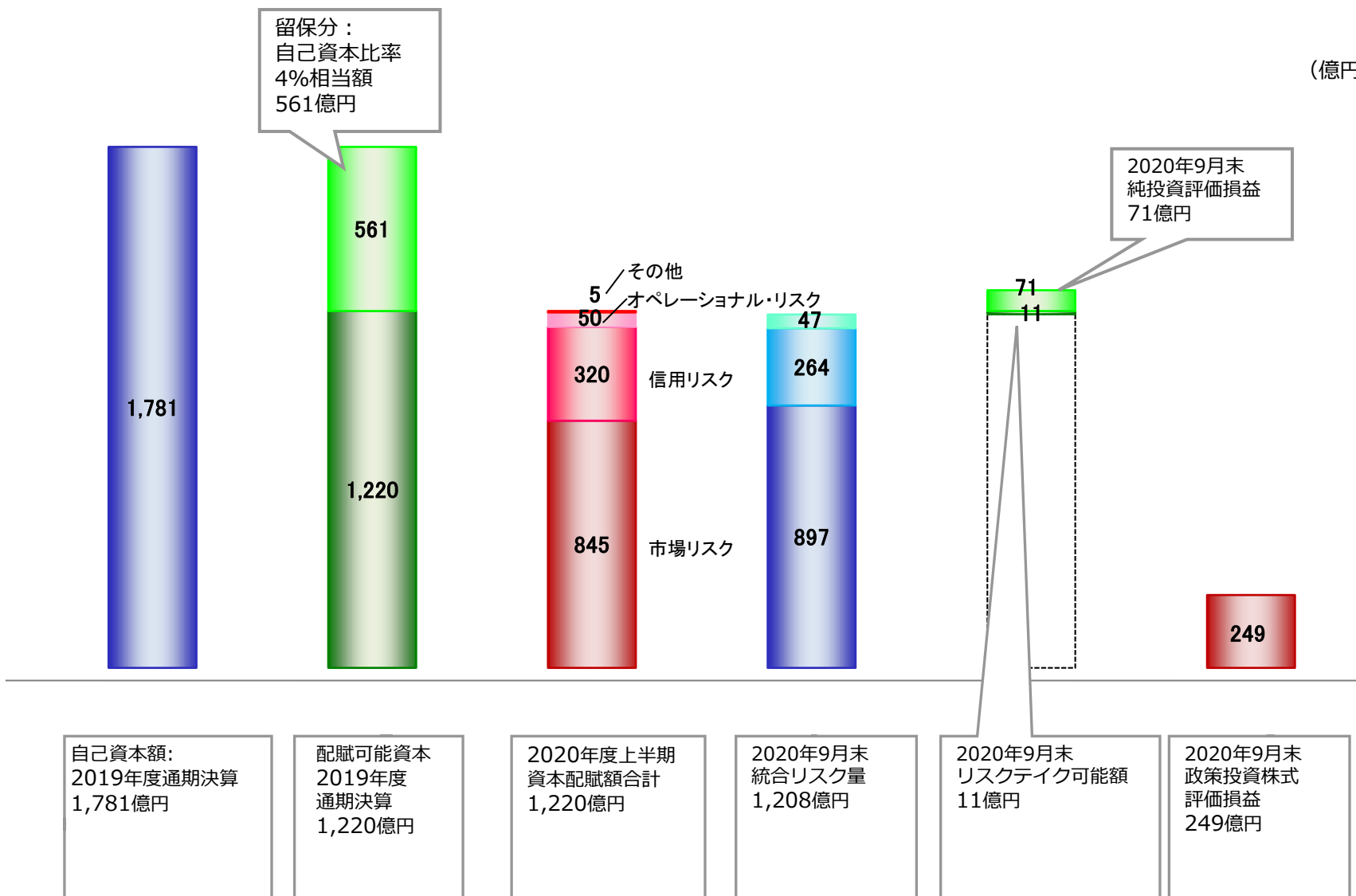
(参考)

銀行勘定の金利リスク (20/9期末)

金利リスク量	156億円
自己資本の額	1,786億円
銀行勘定の金利リスク(IRRBB)	8.7%

※コア預金の算定に内部モデルを使用しております。

(億円)



従業員数・店舗数の推移

(人、店、か所)

	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	20/9期	10/3期比 増 減
従業員数	1,659	1,705	1,704	1,708	1,699	1,675	1,677	1,685	1,737	1,726	1,681	<b>1,693</b>	34
パートタイマー	789	776	736	714	691	672	678	711	714	686	689	<b>686</b>	△ 103
店舗数 (含む出張所)	91	91	91	90	90	90	91	91	92	92	92	※2 <b>92</b>	1
単独店	42	42	42	43	41	41	42	42	41	41	35	<b>31</b>	△ 11
エリア/フルバンキング店	22	22	21	21	21	21	21	21	21	21	22	<b>24</b>	2
エリア/機能特定店、非対面店 ※1	27	27	28	26	28	28	28	28	30	30	35	※2 <b>37</b>	10
実質的な営業拠点数 (支店内支店を1とカウント)	91	91	90	89	89	89	90	90	87	86	82	<b>81</b>	△ 10
法人営業所	0	1	2	1	1	1	0	0	0	1	1	<b>1</b>	1
ライフスクエア・ローンスクエア	5	5	5	6	7	7	8	8	8	8	8	<b>8</b>	3
店舗外ATMコーナー数	132	130	129	126	129	130	133	135	141	142	144	<b>137</b>	5

※ 1 機能特定店は、個人推進店、個人ローン推進店、特定店（ライフスクエア甲府支店）および非対面店（インターネット富士山支店）の合計です。

※ 2 中央市場支店は国母支店内で、住吉支店は南支店内で、千塚支店は湯村支店内で、美術館前支店はライフスクエア甲府支店内で、春日居支店は石和支店内で、禾生支店は都留支店内で、東山梨支店は日下部支店内で、中道支店は城南支店内で、北新支店は武田通支店内で、竜ヶ丘支店は吉田支店内でそれぞれ営業しております。



## 1. 平残

## (1) 地域別

(億円、%)

	18/3	19/3	19/9 (半期実績)	20/3	20/9 (半期実績)	前年同期比		21/3 (計画)	前期比	
						(額)	" (率)		(額)	" (率)
県内	25,675	26,048	26,749	26,638	<b>28,188</b>	1,439	5.3	28,109	1,471	5.5
東京・新宿	665	677	673	681	<b>718</b>	45	6.6	722	41	6.0
西東京	2,832	2,820	2,791	2,801	<b>2,970</b>	179	6.4	2,946	145	5.1
合計	29,173	29,546	30,214	30,120	<b>31,876</b>	1,662	5.5	31,778	1,658	5.5

## (2) マーケット別

(億円、%)

	18/3	19/3	19/9 (半期実績)	20/3	20/9 (半期実績)	前年同期比		21/3 (計画)	前期比	
						(額)	" (率)		(額)	" (率)
金融機関	127	133	139	147	<b>157</b>	18	12.9	155	8	5.4
地公体等	1,970	2,001	2,307	2,076	<b>2,282</b>	▲ 25	▲ 1.0	2,072	▲ 4	▲ 0.1
一般法人	6,146	6,286	6,452	6,487	<b>7,232</b>	780	12.0	7,168	681	10.4
個人	20,928	21,125	21,315	21,409	<b>22,203</b>	888	4.1	22,381	972	4.5
合計	29,173	29,546	30,214	30,120	<b>31,876</b>	1,662	5.5	31,778	1,658	5.5

## 2. 未残

## (1) 地域別

(億円、%)

	18/3	19/3	19/9 (半期実績)	20/3	20/9 (半期実績)	前年同期比		21/3 (計画)	前期比	
						(額)	" (率)		(額)	" (率)
県内	26,041	26,496	26,445	26,859	<b>28,474</b>	2,029	7.6	28,563	1,704	6.3
東京・新宿	653	642	656	695	<b>738</b>	82	12.5	726	31	4.4
西東京	2,806	2,801	2,819	2,872	<b>3,086</b>	267	9.4	2,906	34	1.1
合計	29,501	29,940	29,921	30,427	<b>32,298</b>	2,377	7.9	32,196	1,769	5.8

## (2) マーケット別

(億円、%)

	18/3	19/3	19/9 (半期実績)	20/3	20/9 (半期実績)	前年同期比		21/3 (計画)	前期比	
						(額)	" (率)		(額)	" (率)
金融機関	242	278	176	297	<b>185</b>	9	5.1	312	15	5.0
地公体等	2,018	2,111	2,008	1,934	<b>1,779</b>	▲ 229	▲ 11.4	1,992	58	2.9
一般法人	6,280	6,390	6,472	6,630	<b>7,751</b>	1,279	19.7	7,200	570	8.5
個人	20,960	21,158	21,263	21,564	<b>22,583</b>	1,320	6.2	22,690	1,126	5.2
合計	29,501	29,940	29,921	30,427	<b>32,298</b>	2,377	7.9	32,196	1,769	5.8

1. 平残  
 (1) 地域別 (億円、%)

	18/3	19/3	19/9 (半期実績)	20/3	20/9 (半期実績)		21/3 (計画)	前期比 (額)	" (率)	
					前年同期比 (額)	" (率)				
県内	7,918	8,293	8,608	8,647	<b>9,102</b>	493	5.7	9,238	591	6.8
東京・新宿	3,351	3,658	3,855	4,019	<b>4,631</b>	776	20.1	4,791	772	19.2
西東京	2,222	2,551	2,652	2,718	<b>3,023</b>	371	13.9	3,134	416	15.3
本部所管貸出	1,766	1,801	1,746	1,678	<b>1,710</b>	▲ 36	▲ 2.0	1,598	▲ 80	▲ 4.7
合計	15,258	16,304	16,864	17,065	<b>18,468</b>	1,604	9.5	18,762	1,697	9.9

(注) 本部所管貸出は、財務省向け貸出、譲受債権および山梨県当貸等をいう。

 (2) マーケット別 (億円、%)

	18/3	19/3	19/9 (半期実績)	20/3	20/9 (半期実績)		21/3 (計画)	前期比 (額)	" (率)	
					前年同期比 (額)	" (率)				
金融機関	203	262	279	310	<b>321</b>	42	15.0	324	14	4.5
地公体等	2,646	2,763	2,798	2,730	<b>3,067</b>	268	9.5	2,971	241	8.8
一般法人	8,844	9,599	9,986	10,181	<b>11,156</b>	1,170	11.7	11,520	1,339	13.1
個人	3,563	3,678	3,799	3,841	<b>3,923</b>	124	3.2	3,946	105	2.7
合計	15,258	16,304	16,864	17,065	<b>18,468</b>	1,604	9.5	18,762	1,697	9.9

## 2. 未残

## (1) 地域別

(億円、%)

	18/3	19/3	19/9 (半期実績)	20/3	20/9 (半期実績)	前年同期比		21/3 (計画)	前期比	
						(額)	" (率)		(額)	" (率)
県内	8,481	8,824	8,721	9,172	<b>9,333</b>	612	7.0	9,692	520	5.6
東京・新宿	3,491	3,823	4,016	4,346	<b>4,711</b>	695	17.3	5,043	697	16.0
西東京	2,444	2,686	2,728	2,916	<b>3,141</b>	413	15.1	3,287	371	12.7
本部所管貸出	1,847	1,773	1,630	1,647	<b>1,654</b>	24	1.4	1,107	▲ 540	▲ 32.7
合計	16,265	17,108	17,097	18,082	<b>18,840</b>	1,743	10.1	19,131	1,049	5.8

(注) 本部所管貸出は、財務省向け貸出、譲受債権および山梨県当貸等をいう。

## (2) マーケット別

(億円、%)

	18/3	19/3	19/9 (半期実績)	20/3	20/9 (半期実績)	前年同期比		21/3 (計画)	前期比	
						(額)	" (率)		(額)	" (率)
金融機関	248	279	292	319	<b>317</b>	25	8.5	331	12	3.7
地公体等	2,752	2,811	2,646	2,977	<b>3,006</b>	360	13.6	2,500	▲ 477	▲ 16.0
一般法人	9,634	10,255	10,299	10,868	<b>11,576</b>	1,277	12.3	12,313	1,445	13.2
個人	3,629	3,762	3,858	3,916	<b>3,940</b>	82	2.1	3,985	69	1.7
合計	16,265	17,108	17,097	18,082	<b>18,840</b>	1,743	10.1	19,131	1,049	5.8

## 業種別貸出金（ローンポートフォリオ）

（金額単位：百万円）

	20 / 3期		20 / 9期		前期比増減	
	貸出残高	構成比	貸出残高	構成比	貸出残高	構成比
製造業	203,445	11.3%	<b>225,443</b>	<b>12.0%</b>	21,998	0.7P
農業、林業	3,607	0.2%	<b>3,357</b>	<b>0.2%</b>	△ 250	0.0P
漁業	39	0.0%	<b>39</b>	<b>0.0%</b>	0	0.0P
鉱業、採石業、砂利採取業	4,402	0.2%	<b>4,168</b>	<b>0.2%</b>	△ 234	0.0P
建設業	43,166	2.4%	<b>45,495</b>	<b>2.4%</b>	2,329	0.0P
電気・ガス・熱供給・水道業	30,401	1.7%	<b>34,269</b>	<b>1.8%</b>	3,868	0.1P
情報通信業	17,150	0.9%	<b>18,175</b>	<b>1.0%</b>	1,025	0.1P
運輸業、郵便業	93,339	5.2%	<b>104,471</b>	<b>5.5%</b>	11,132	0.3P
卸売業、小売業	125,568	6.9%	<b>149,178</b>	<b>7.9%</b>	23,610	1.0P
金融業、保険業	77,319	4.3%	<b>75,504</b>	<b>4.0%</b>	△ 1,815	△ 0.3P
不動産業、物品賃貸業	328,038	18.1%	<b>333,553</b>	<b>17.7%</b>	5,515	△ 0.4P
不動産業	246,491	13.6%	<b>261,517</b>	<b>13.9%</b>	15,026	0.3P
地方公社	18,987	1.0%	<b>5,254</b>	<b>0.3%</b>	△ 13,733	△ 0.7P
物品賃貸業	62,559	3.5%	<b>66,781</b>	<b>3.5%</b>	4,222	0.0P
その他サービス業	166,350	9.2%	<b>170,375</b>	<b>9.0%</b>	4,025	△ 0.2P
国・地方公共団体	297,704	16.5%	<b>300,614</b>	<b>16.0%</b>	2,910	△ 0.5P
その他（個人）	417,698	23.1%	<b>419,422</b>	<b>22.3%</b>	1,724	△ 0.8P
貸出金合計	1,808,232	100.0%	<b>1,884,070</b>	<b>100.0%</b>	75,838	—

規模別・地域別貸出金残高（未残）

（億円、%、ポイント）

		全 体			山梨県内			西東京ブロック			東京ブロック			本部所管貸出		
		20/3期	20/9期		20/3期	20/9期		20/3期	20/9期		20/3期	20/9期		20/3期	20/9期	
			前期比			前期比			前期比			前期比				
国 地方公共団体	残高	2,977	<b>3,006</b>	29	2,260	<b>2,256</b>	▲ 4	9	<b>54</b>	45	11	<b>9</b>	▲ 2	695	<b>686</b>	▲ 9
	構成比	16.5%	<b>16.0%</b>	▲ 0.5	24.6%	<b>24.2%</b>	▲ 0.5	0.3%	<b>1.8%</b>	1.5	0.3%	<b>0.2%</b>	▲ 0.1	42.2%	<b>41.5%</b>	▲ 0.7
事業性	残高	10,927	<b>11,640</b>	713	3,758	<b>3,914</b>	156	1,907	<b>2,081</b>	174	4,307	<b>4,675</b>	368	951	<b>968</b>	17
	構成比	60.4%	<b>61.8%</b>	1.4	41.0%	<b>41.9%</b>	1.0	65.4%	<b>66.3%</b>	0.9	99.1%	<b>99.2%</b>	0.1	57.7%	<b>58.5%</b>	0.8
大企業	残高	4,041	<b>4,470</b>	429	304	<b>336</b>	32	124	<b>121</b>	▲ 3	3,199	<b>3,481</b>	282	413	<b>530</b>	117
	構成比	22.3%	<b>23.7%</b>	1.4	3.3%	<b>3.6%</b>	0.3	4.3%	<b>3.9%</b>	▲ 0.4	73.6%	<b>73.9%</b>	0.3	25.1%	<b>32.0%</b>	7.0
中堅企業	残高	225	<b>195</b>	▲ 30	91	<b>11</b>	▲ 80	61	<b>53</b>	▲ 8	72	<b>78</b>	6	0	<b>52</b>	52
	構成比	1.2%	<b>1.0%</b>	▲ 0.2	1.0%	<b>0.1%</b>	▲ 0.9	2.1%	<b>1.7%</b>	▲ 0.4	1.7%	<b>1.7%</b>	▲ 0.0	0.0%	<b>3.1%</b>	3.1
中小企業	残高	6,660	<b>6,974</b>	314	3,363	<b>3,566</b>	203	1,722	<b>1,906</b>	184	1,036	<b>1,115</b>	79	538	<b>385</b>	▲ 153
	構成比	36.8%	<b>37.0%</b>	0.2	36.7%	<b>38.2%</b>	1.5	59.1%	<b>60.7%</b>	1.6	23.8%	<b>23.7%</b>	▲ 0.2	32.7%	<b>23.3%</b>	▲ 9.4
非事業性個人	残高	4,176	<b>4,194</b>	18	3,153	<b>3,163</b>	10	997	<b>1,004</b>	7	25	<b>26</b>	1	-	-	-
	構成比	23.1%	<b>22.3%</b>	▲ 0.8	34.4%	<b>33.9%</b>	▲ 0.5	34.2%	<b>32.0%</b>	▲ 2.2	0.6%	<b>0.6%</b>	▲ 0.0	-	-	-
合 計	残高	18,082	<b>18,840</b>	758	9,172	<b>9,333</b>	161	2,916	<b>3,141</b>	225	4,346	<b>4,711</b>	365	1,647	<b>1,654</b>	7
	構成比	100.0%	<b>100.0%</b>	-	100.0%	<b>100.0%</b>	-	100.0%	<b>100.0%</b>	-	100.0%	<b>100.0%</b>	-	100.0%	<b>100.0%</b>	-

## <銀行法に基づくリスク管理債権の開示>

当行では、部分直接償却を実施しておりません。

(金額単位：億円)

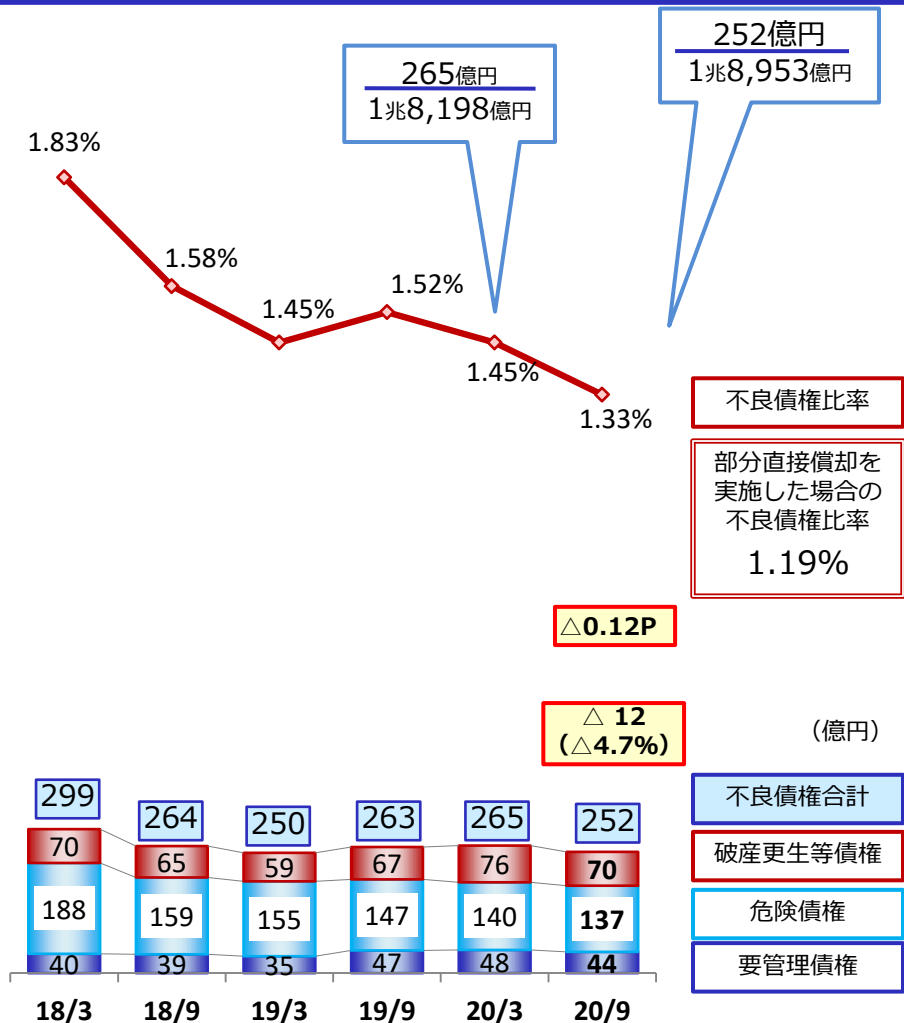
	20 / 3 期末	20 / 9 期末	前期比増減	20 / 9 期末連結
破綻先債権額	25	28	3	29
延滞債権額	190	178	△ 11	182
3 カ月以上延滞債権額	0	0	△ 0	0
貸出条件緩和債権額	48	44	△ 3	44
リスク管理債権額合計 (A) (貸出金残高に占める比率)	264 (1.46%)	252 (1.33%)	△ 12 (△ 0.13 P)	256 (1.36%)
担保・保証等による保全額 (B) (個別貸倒引当金を含む)	221	212	△ 9	216
カバー率 (B) ÷ (A)	83.75%	84.15%	0.40 P	84.35%
一般貸倒引当金残高 (C)	46	46	△ 0	64
カバー率 (一般貸倒引当金を含む) (B+C) ÷ (A)	101.47%	102.46%	0.99 P	109.43%

※部分直接償却を実施した場合のリスク管理債権額 (単体) は、以下のとおりとなります。

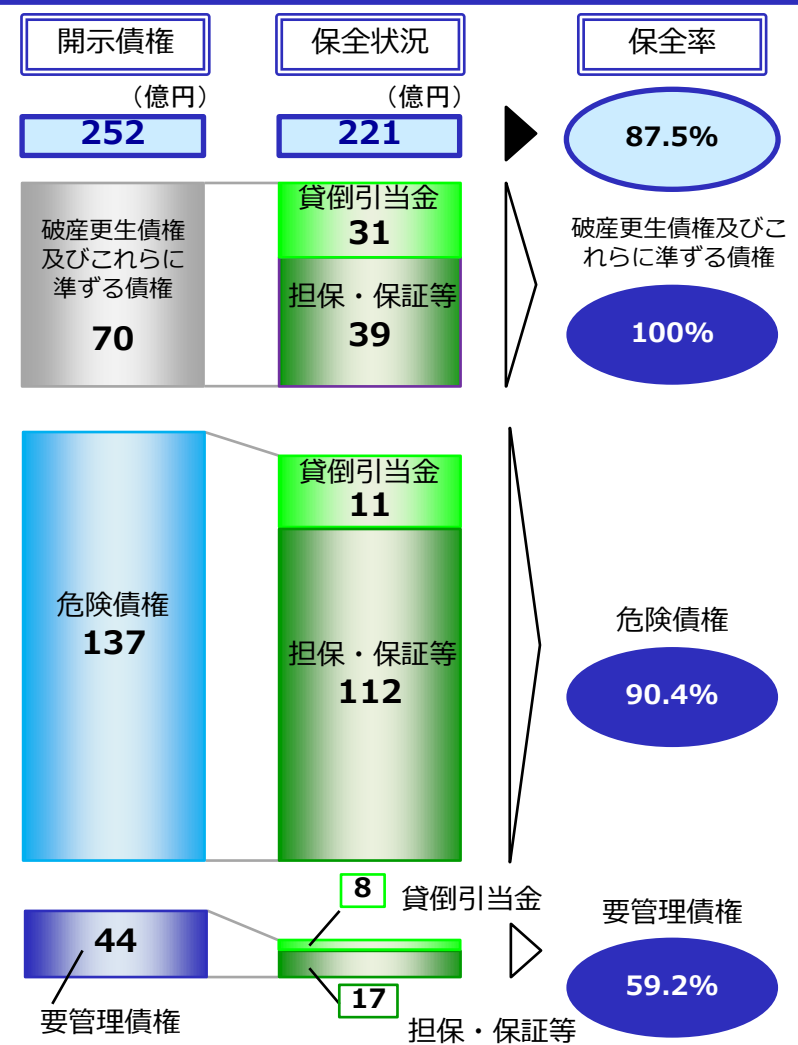
(金額単位：億円)

	20 / 9 期末 部分直接償却前①	20 / 9 期末 部分直接償却後②	増 減 ② - ①
破綻先債権額	28	15	△ 13
延滞債権額	178	165	△ 12
3 カ月以上延滞債権額	0	0	0
貸出条件緩和債権額	44	44	0
リスク管理債権額合計 (貸出金残高に占める比率)	252 (1.33%)	226 (1.20%)	△ 26 (△ 0.13 P)

## 金融再生法開示債権額・比率の推移





## 金融再生法開示債権の保全状況





(億円)

総与信残高ベース (20/3期末→20/9期末)		20/9期末						破綻懸念先 以下への 劣化比率	
		正常先	その他 要注意先	要管理先	破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
20 / 3 期 末	新規	-	277	18	-	0	-	-	
	正常先	16,791	17,282	98	0	2	0	-	0.01%
	その他 要注意先	1,074	25	915	7	2	0	-	0.24%
	要管理先	61	1	4	55	1	-	-	1.90%
	破綻懸念先	140	0	2	-	132	0	-	
	実質破綻先	50	-	0	-	-	39	6	
	破綻先	25	-	-	-	-	-	22	
	合計	18,143	17,587	1,040	63	137	41	28	

 下方遷移  
 上方遷移

(注) 残高は、貸出金・支払承諾・外国為替・与信関係仮払金・未収利息を含めた総与信残高ベース。

ただし、国・地方公共団体の残高および自己査定非抽出先は「正常先」に含めて記載。

1. 預金シェア

(%、ポイント)

	16/3	16/9	17/3	17/9	18/3	18/9	19/3	19/9	20/3	20/9	前年同期比
当行	50.4	49.1	49.6	49.4	49.9	49.0	49.7	49.3	49.8	<b>49.6</b>	0.3
大手行	7.1	6.9	7.0	7.0	7.0	7.0	7.1	7.0	7.0	<b>6.8</b>	▲ 0.2
信金・信組	27.7	28.7	28.6	28.1	28.1	28.1	27.9	27.8	27.6	<b>28.1</b>	0.3
JA	13.0	13.7	13.1	13.8	13.4	14.1	13.5	14.1	13.8	<b>13.7</b>	▲ 0.4
政府系ほか	1.8	1.6	1.7	1.7	1.6	1.8	1.8	1.8	1.9	<b>1.8</b>	▲ 0.0

※ゆうちょ銀行を除く

2. 貸出金シェア

(%、ポイント)

	16/3	16/9	17/3	17/9	18/3	18/9	19/3	19/9	20/3	20/9	前年同期比
当行	41.8	40.6	41.1	40.4	41.8	41.4	43.4	43.6	44.9	<b>43.6</b>	▲ 0.0
大手行	9.5	9.2	8.8	8.8	8.6	8.5	8.2	8.2	8.0	<b>7.5</b>	▲ 0.7
信金・信組	32.3	34.0	34.2	34.7	34.0	33.6	32.4	32.0	30.4	<b>29.8</b>	▲ 2.2
JA	7.1	6.9	6.7	6.9	6.4	6.5	6.1	6.2	5.9	<b>5.7</b>	▲ 0.5
政府系ほか	9.3	9.3	9.2	9.2	9.3	10.0	9.9	10.1	10.8	<b>13.5</b>	3.4

## <時価評価前残高の推移>

(億円、%、ポイント)

	18/3期		18/9期		19/3期		19/9期		20/3期		20/9期		前年同月比増減	
	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比
国債	3,763	31.1	4,145	34.1	3,387	31.2	3,388	29.0	3,039	25.2	<b>3,183</b>	<b>25.8</b>	△ 205	△ 3.2
地方債	1,689	14.0	1,892	15.6	1,827	16.8	2,270	19.4	2,679	22.2	<b>3,425</b>	<b>27.8</b>	1,155	8.4
社債	574	4.8	567	4.6	594	5.5	854	7.3	1,074	8.9	<b>1,201</b>	<b>9.8</b>	347	2.5
株式	405	3.3	405	3.3	341	3.1	321	2.8	325	2.7	<b>300</b>	<b>2.4</b>	△ 21	△ 0.4
政策投資株式	255	2.1	255	2.1	245	2.2	240	2.0	219	1.8	<b>209</b>	<b>1.7</b>	△ 31	△ 0.3
純投資株式	150	1.2	150	1.2	95	0.9	81	0.7	106	0.9	<b>91</b>	<b>0.7</b>	10	0.0
投資信託等	5,251	43.5	4,829	39.7	4,374	40.3	4,399	37.6	4,382	36.3	<b>3,948</b>	<b>32.0</b>	△ 451	△ 5.6
外貨建債券	394	3.3	323	2.7	330	3.0	455	3.9	561	4.7	<b>265</b>	<b>2.2</b>	△ 190	△ 1.7
合計	12,078	100.0	12,164	100.0	10,855	100.0	11,691	100.0	12,063	100.0	<b>12,325</b>	<b>100.0</b>	634	

## <有価証券利息の推移>

(百万円、%、ポイント)

	18/3期		18/9期		19/3期		19/9期		20/3期		20/9期		前年同期比増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
円建債券	4,822	39.4	2,212	39.7	4,632	41.7	1,681	29.5	3,841	32.4	<b>1,720</b>	<b>26.3</b>	39	△ 3.2
株式	1,169	9.6	734	13.2	1,369	12.3	658	11.5	1,207	10.2	<b>622</b>	<b>9.5</b>	△ 36	△ 2.0
投資信託等	3,714	30.3	2,169	38.9	4,307	38.7	2,976	52.2	5,905	49.8	<b>3,914</b>	<b>59.9</b>	938	7.7
外貨建債券	2,537	20.7	459	8.2	810	7.3	387	6.8	903	7.6	<b>275</b>	<b>4.3</b>	△ 112	△ 2.5
合計	12,242	100.0	5,576	100.0	11,119	100.0	5,703	100.0	11,857	100.0	<b>6,533</b>	<b>100.0</b>	830	

※2020年度から、投信解約損益をネット処理し、収益超過の場合は有価証券利息、損失超過の場合は国債等債券償還損に計上する決算処理に変更  
(過去分も同様の決算処理に修正して表示)

<利回りの推移>

(%)

	18/3期	18/9期	19/3期	19/9期	20/3期	20/9期	前年同期比 増減 (P)
円 建 債 券	0.84	0.69	0.73	0.53	0.59	<b>0.46</b>	△ 0.07
株 式	3.39	3.60	3.56	3.97	3.67	<b>3.82</b>	△ 0.15
投 資 信 託 等	0.92	0.88	0.90	1.40	1.35	<b>1.88</b>	0.48
円 貨 建 計	0.96	0.87	0.90	0.97	0.98	<b>1.05</b>	0.08
外 貨 建 債 券	2.06	2.48	2.39	1.78	1.86	<b>1.89</b>	0.11
合 計	1.08	0.92	0.94	1.00	1.01	<b>1.07</b>	0.07

<評価損益の推移>

(億円)

	18/3期	18/9期	19/3期	19/9期	20/3期	20/9期	前年同期比 増減
円 建 債 券	212	161	185	200	112	<b>107</b>	△ 93
株 式	319	356	321	291	188	<b>252</b>	△ 39
うち政策投資株式	294	346	310	287	194	<b>249</b>	△ 38
投 資 信 託 等	△ 26	13	18	110	△ 142	△ <b>51</b>	△ 161
外 貨 建 債 券	△ 8	△ 12	0	17	35	<b>12</b>	△ 5
合 計	496	519	525	619	194	<b>320</b>	△ 299

<売買損益の推移>

(百万円)

	18/3期	18/9期	19/3期	19/9期	20/3期	20/9期	前年同期比 増減
国 債 等 債 券 損 益	△ 3,256	71	3,126	△ 8	△ 150	△ <b>594</b>	△ 586
国債等債券売却益	2,164	1,483	5,242	528	1,542	<b>4,548</b>	4,020
国債等債券売却損	1,471	275	322	-	-	<b>622</b>	622
国債等債券償却	-	-	-	50	102	-	△ 50
国債等債券償還損	3,949	1,136	1,793	486	1,591	<b>4,520</b>	4,034
株 式 等 関 係 損 益	6,457	1,794	66	1,276	1,309	△ <b>1,229</b>	△ 2,505
株式等売却益	6,457	1,858	3,414	1,552	2,006	<b>395</b>	△ 1,157
株式等売却損	-	63	3,348	188	537	<b>374</b>	186
株式等償却	-	-	-	88	158	<b>1,251</b>	1,163
合 計	3,201	1,866	3,192	1,267	1,158	△ <b>1,824</b>	△ 3,091

<投資信託解約益・解約損の推移>

(百万円)

	18/3期	18/9期	19/3期	19/9期	20/3期	20/9期	前年同期比 増減
投資信託解約益	3,607	1,609	3,417	1,373	2,423	<b>282</b>	△ 1,091
投資信託解約損	7,556	2,745	5,210	1,860	4,014	<b>4,802</b>	2,942
合 計	△ 3,949	△ 1,136	△ 1,793	△ 486	△ 1,591	△ <b>4,520</b>	△ 4,034

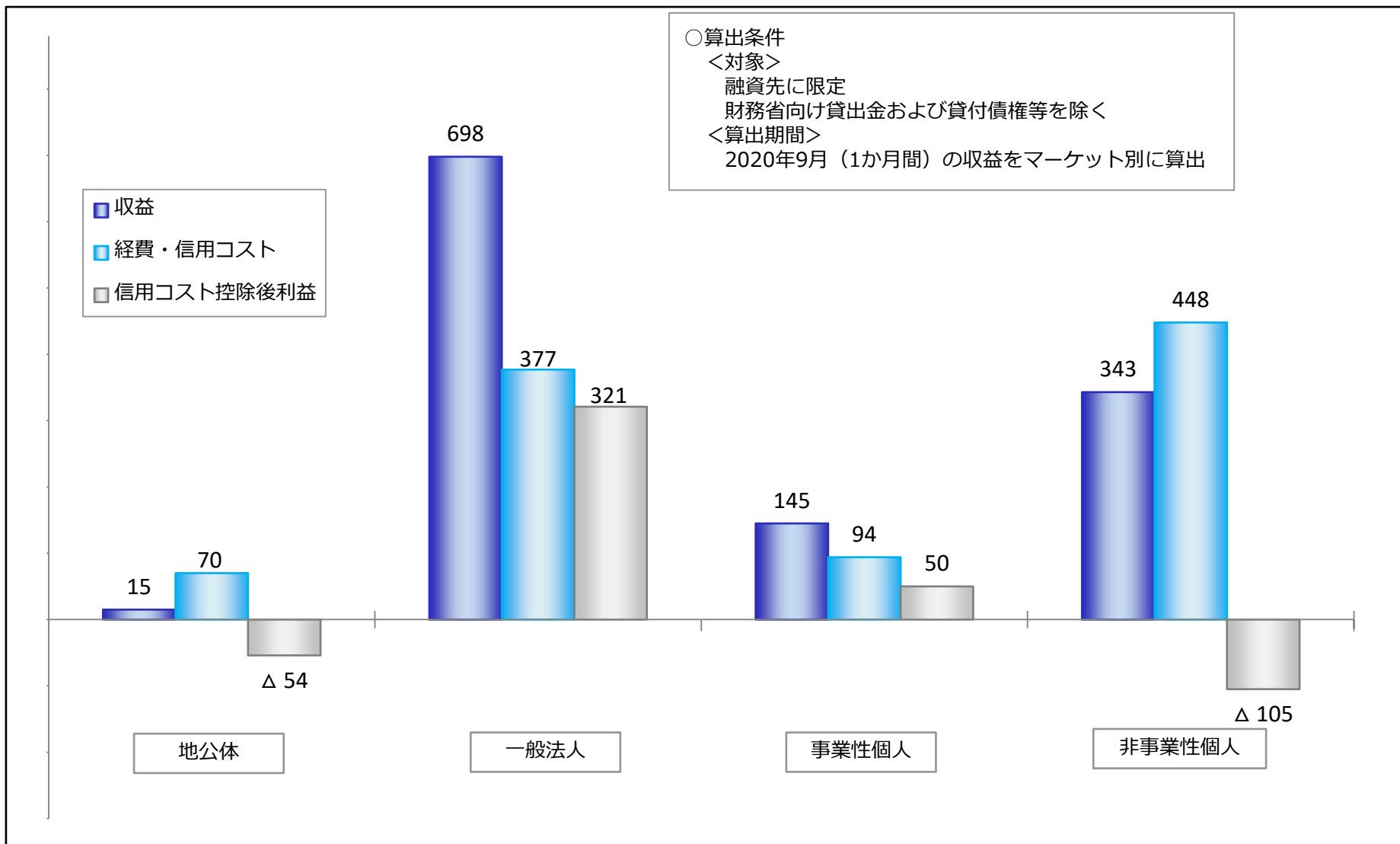
<債券修正デューレーションの推移>

	18/3期	18/9期	19/3期	19/9期	20/3期	20/9期	前年同期比 増減
円 建 債 券	5.7	5.6	5.4	5.6	5.6	<b>5.9</b>	0.3
外 貨 建 債 券	5.5	5.6	5.3	6.3	6.1	<b>5.3</b>	△ 1.0

※2020年度から、投資解約損益をネット処理し、収益超過の場合は有価証券利息、損失超過の場合は国債等債券償還損に計上する決算処理に変更  
(過去分も同様の決算処理に修正して表示)

<2020年9月単月実績>

(百万円)



(百万円、20/9期末)

会社名	山梨中央保証(株)	山梨中銀リース(株)	山梨中銀 ディーシーカード(株)	山梨中銀 経営コンサルティング(株)
設立年月日	1986年7月1日	1987年4月6日	1991年7月2日	1996年8月2日
資本金 (当行出資比率) (グループ出資比率)	20 (99.65%) (99.81%)	20 (35.25%) (66.00%)	20 (30.25%) (67.50%)	200 (45.00%) (87.50%)
事業内容	信用保証業務等	リース業務等	クレジットカード 業務等	総合コンサルティング 業務、 ベンチャーキャピタル等
営業収益	230	2,462	441	87
営業利益	159	199	△34	15
経常利益	206	200	8	16
中間純利益	161	137	4	11
総資産	9,120	11,210	3,420	1,724
純資産	5,954	3,513	1,366	1,318
借入金残高 (うち、当行からの借入金残高)	- (-)	7,187 (6,271)	840 (840)	- (-)

# 山梨県の経済



ワイン

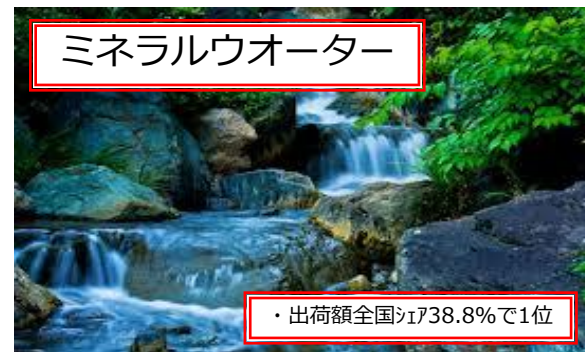


・出荷額全国シェア22.8%で2位  
・「山梨」ワイン表示指定（国税庁）

日本酒



ミネラルウォーター



・出荷額全国シェア38.8%で1位

果物



・葡萄・桃・すもも収穫量全国1位

ジュエリー



・ジュエリー出荷額全国2位

絹織物



・羽毛布団出荷額全国3位

ニット



印伝



和紙



・障子紙・書道用紙出荷額全国3位

「2019年工業統計調査（2018年実績 確報）」 「2019年作物統計調査」



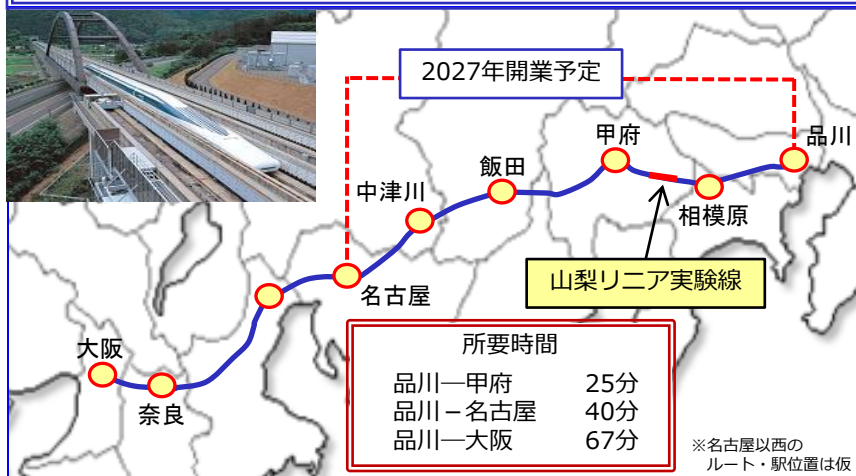
**期待効果**

関西・東海圏からの**観光客・受注機会増加**、**物流拠点の拡大**、**首都圏への通勤可能範囲拡大**による**定住者増加**等

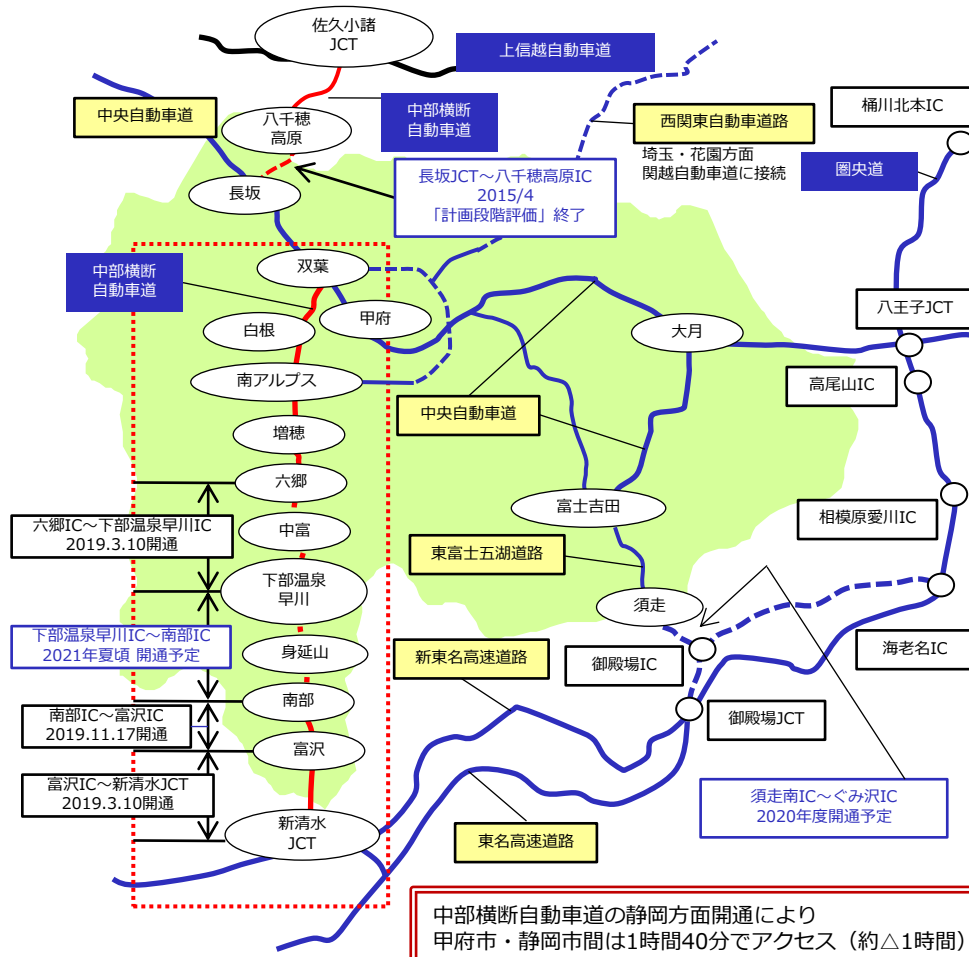
**リニア中央新幹線**

- ・ 2014.10 国土交通相が着工認可、H39年（2027年）開業予定
- ・ 2015.12 南アルプストンネル（連絡路）の山梨側区間着工
- ・ 2016.01 品川駅着工
- ・ 2016.11 南アルプストンネルの長野工区着工
- ・ 2017.03 山梨県が「リニア環境未来都市整備方針」を策定
- ・ 2018.04 南アルプストンネル（本線）の山梨工区着工
- ・ 2019.11 神奈川県駅（仮称）着工

**リニア中央新幹線の路線図**



**中部横断自動車道**



【概況】

山梨県内の景気（9月～10月）は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続いているが、一部に持ち直しの動きもみられる。

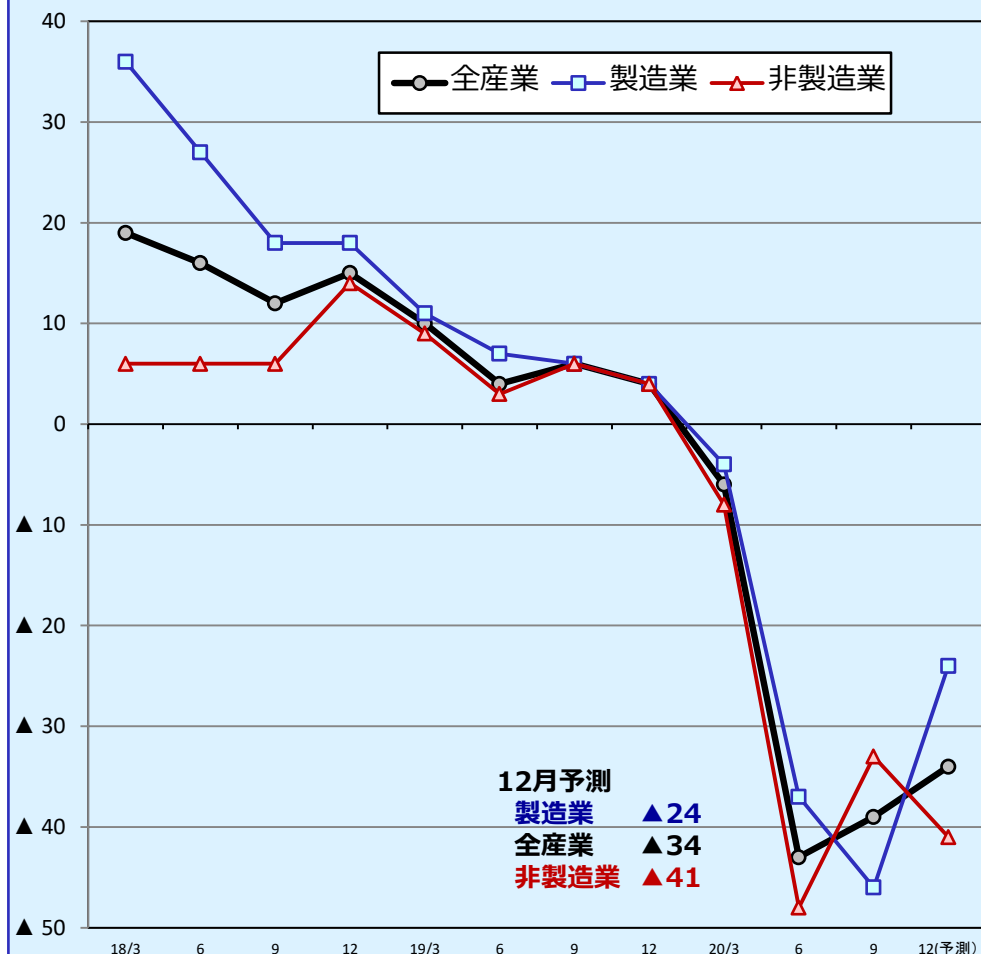
生産面においては、機械工業が下げ止まりつつあり、需要面については、設備投資で慎重姿勢が強まる一方、個人消費は持ち直しの動きが続いている。

日銀短観業況D.I.をみると、新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済の停滞を背景に、大きく悪化している。先行きについて、製造業は、悪化の度合いが幾分和らぐ見通しにある反面、非製造業では更なる落ち込みを見込んでいる。

日銀短観業況判断D.I.（県内）

	6月	9月	12月（予測）
全産業	▲ 43	▲ 39	▲ 34
製造業	▲ 37	▲ 46	▲ 24
非製造業	▲ 48	▲ 33	▲ 41

日銀短観業況判断D.I.（県内）



「日本銀行甲府支店」

### 【需要動向】

個人消費は、食料品が好調であるほか、外食・レジャー等のサービス関連消費にも公的支援策の効果が表れ始めるなど、全体として持ち直している。

設備投資は、慎重姿勢が強まっている。

#### ① 個人消費

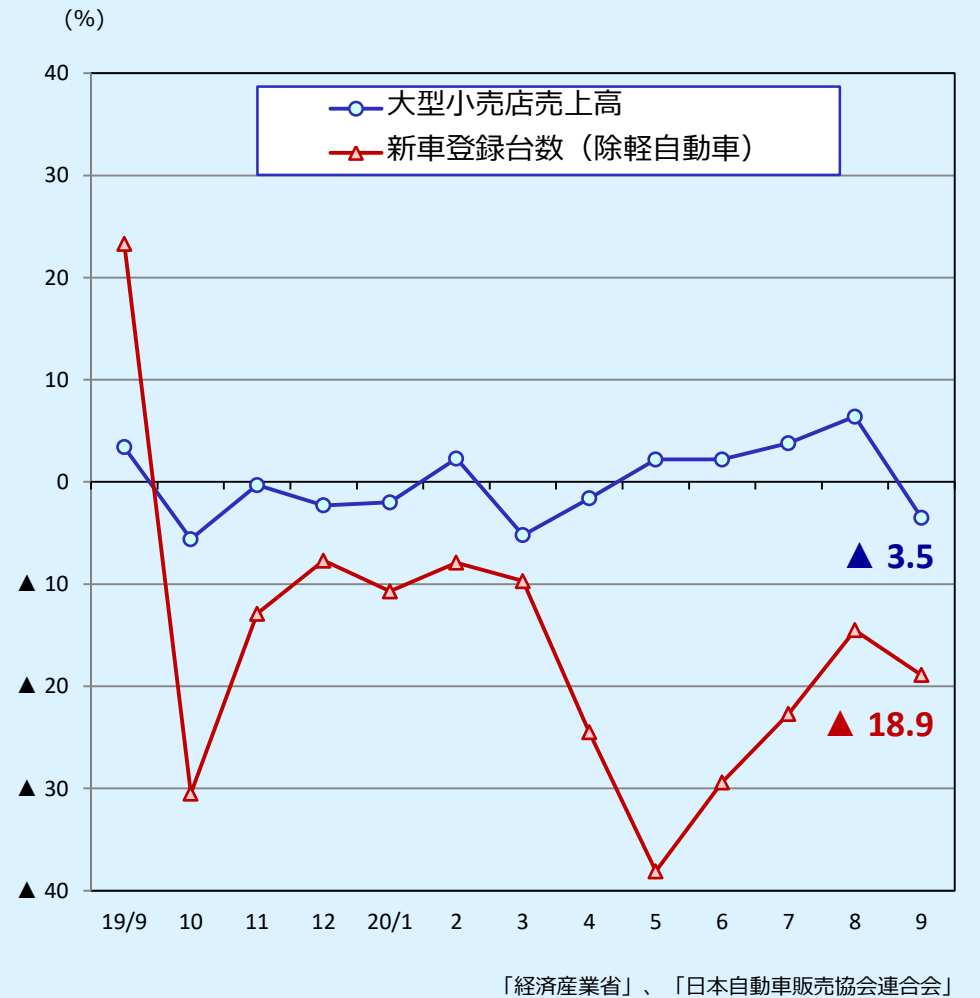
##### ・ 大型小売店売上

年明け以降、新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛が広がったことで、衣料品が弱い動きをみせたものの、在宅時間の長期化で自宅での食事の回数が増えたことで食料品が好調となるなど、全体としては底堅い動きとなっている。

##### ・ 新車登録台数

消費税増税後から前年割れが続いていたが、年明け以降の新型コロナウイルス感染症の影響により大きく落ち込んだ。緊急事態宣言解除後は持ち直しの動きがみられるものの、依然低調な状況が続いている。

### 需要動向①（前年比増減率）



・ 観光・レジャー

国内観光客については、公的な支援策なども活用した個人旅行が県内各所で増加するなど、持ち直しの動きがみられるものの、外国人観光客の往来が停止していることもあり、全体としては低水準の動きとなっている。

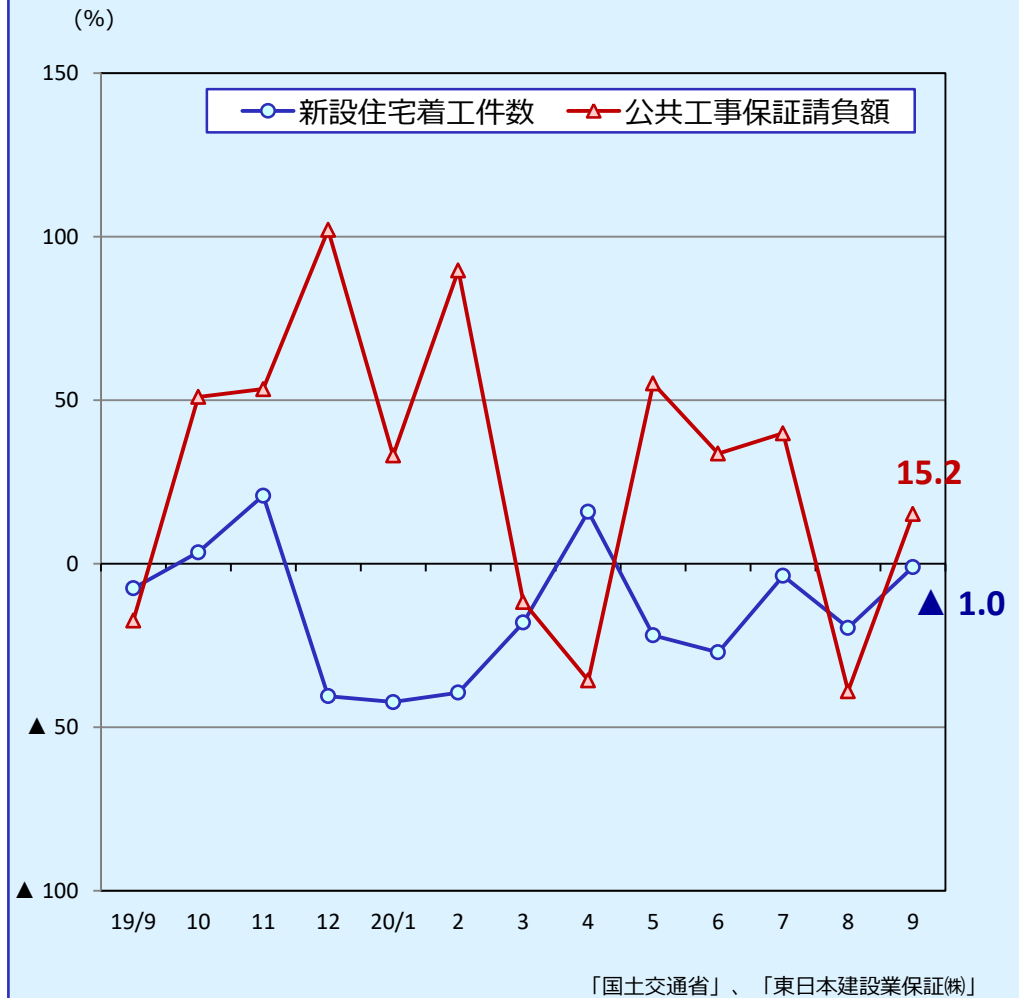
② 住宅建設

消費税増税の反動や新型コロナウイルス感染症の影響もあり、概ね前年を下回る動きが続いている。

③ 公共工事

周期的に増減を繰り返しているが、全体としては前年を上回る水準となっている。

需要動向②（前年比増減率）

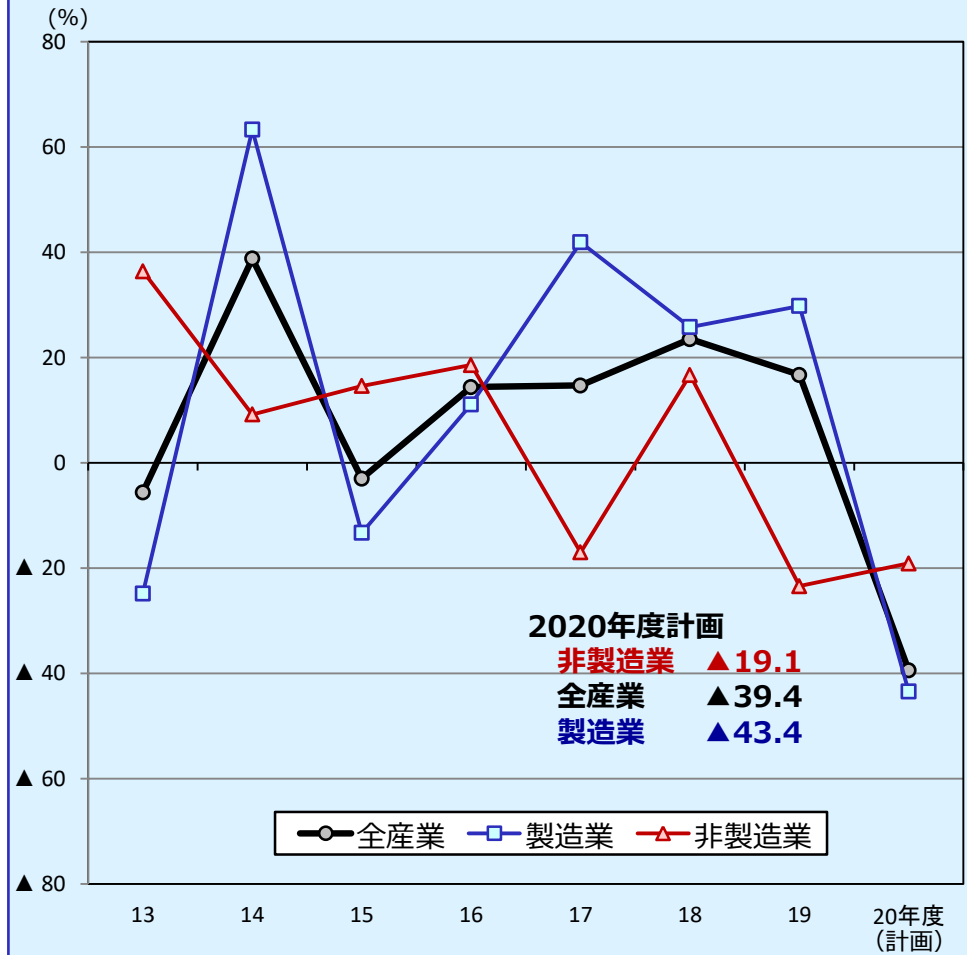


#### ④ 設備投資

設備投資は、慎重姿勢が窺われる。

なお、日銀短観（9月調査）によると、2020年度は製造業・非製造業ともに前年度を下回る計画となっている。

### 県内設備投資動向（日銀短観）（前年度比増減率）



「日本銀行甲府支店」

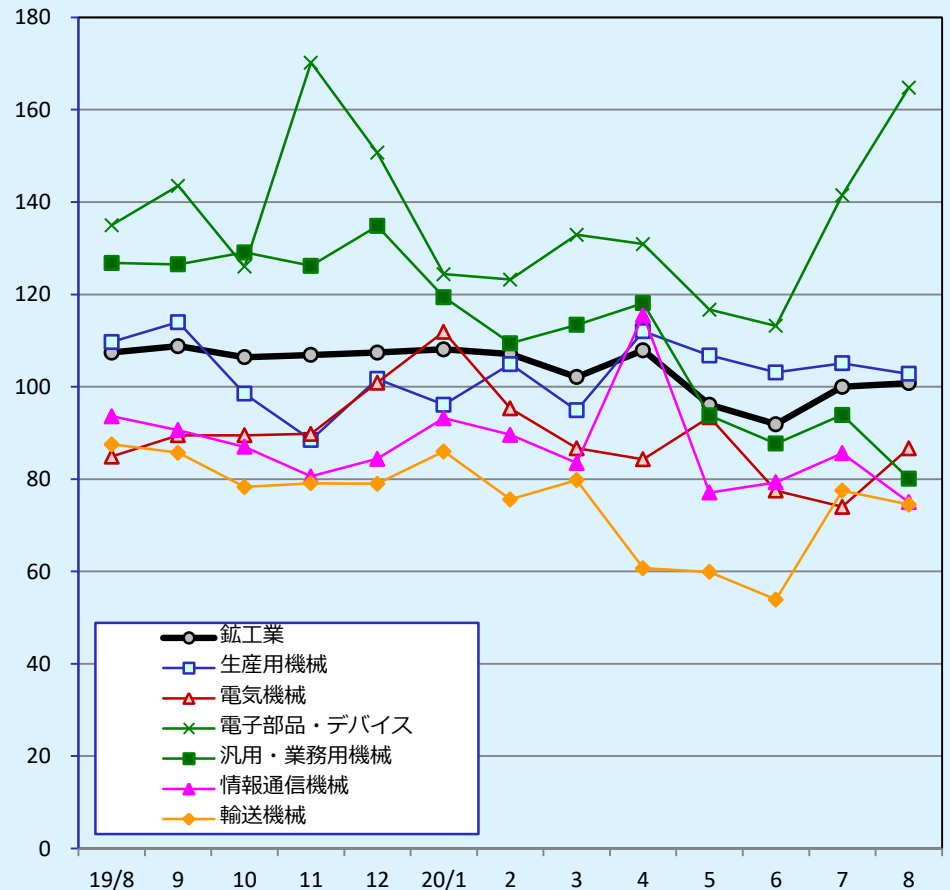
### 【生産活動】

機械工業は、品目によりばらつきがみられるものの、全体としては下げ止まりつつある。これまで低調であった自動車部品や宝飾に上向きの動きがみられたほか、半導体や電子部品の需要も高水準にある。

地場産業は、国内需要の縮小や原材料価格の上昇のほか、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、全体として厳しい局面が続いている。

先行きについて、米国では製造業の復調がみられ、中国でも設備投資主導の持ち直しの動きがみられる。一方、新型コロナウイルス感染症の再拡大の懸念は払拭されず、世界的な生産活動の停滞は継続するものと考えられる。

### 鉱工業生産指数（季調済、2015年=100）



「県統計調査課」

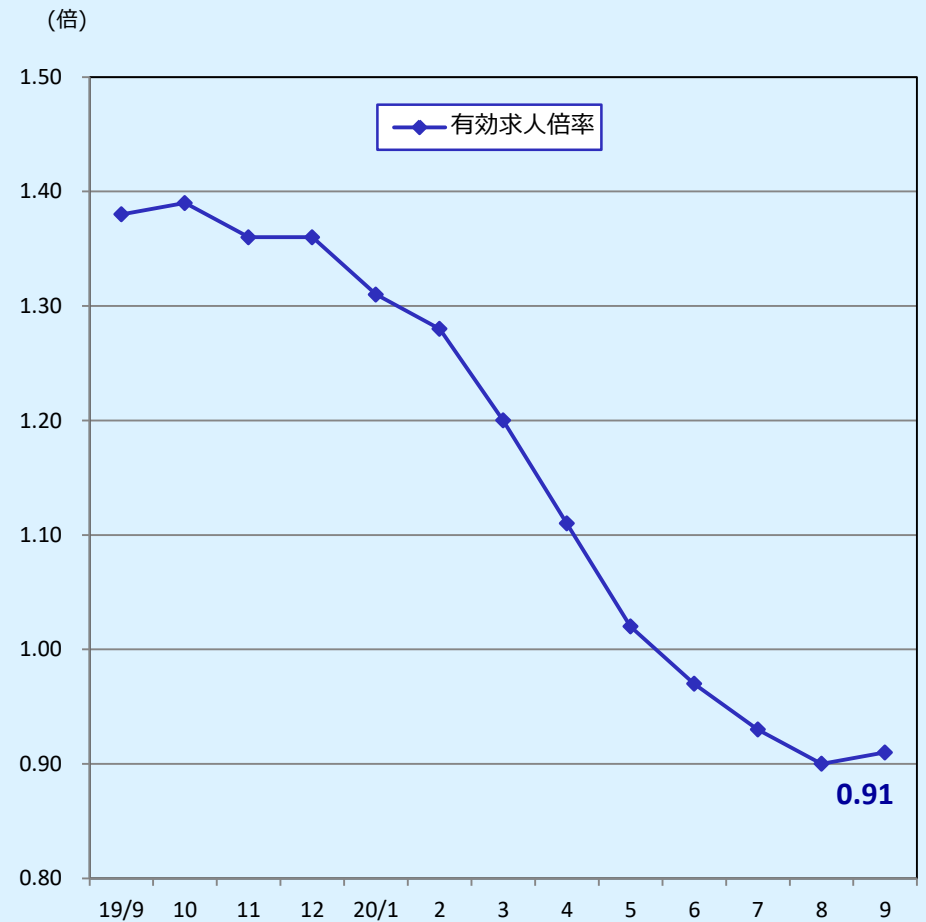
### 【雇用情勢】

有効求人倍率は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、急速に低下しているが、足元下げ止まりつつある。

	山梨県	全 国
有効求人倍率（9月）	<b>0.91倍</b>	1.03倍

「厚生労働省」

### 雇用情勢

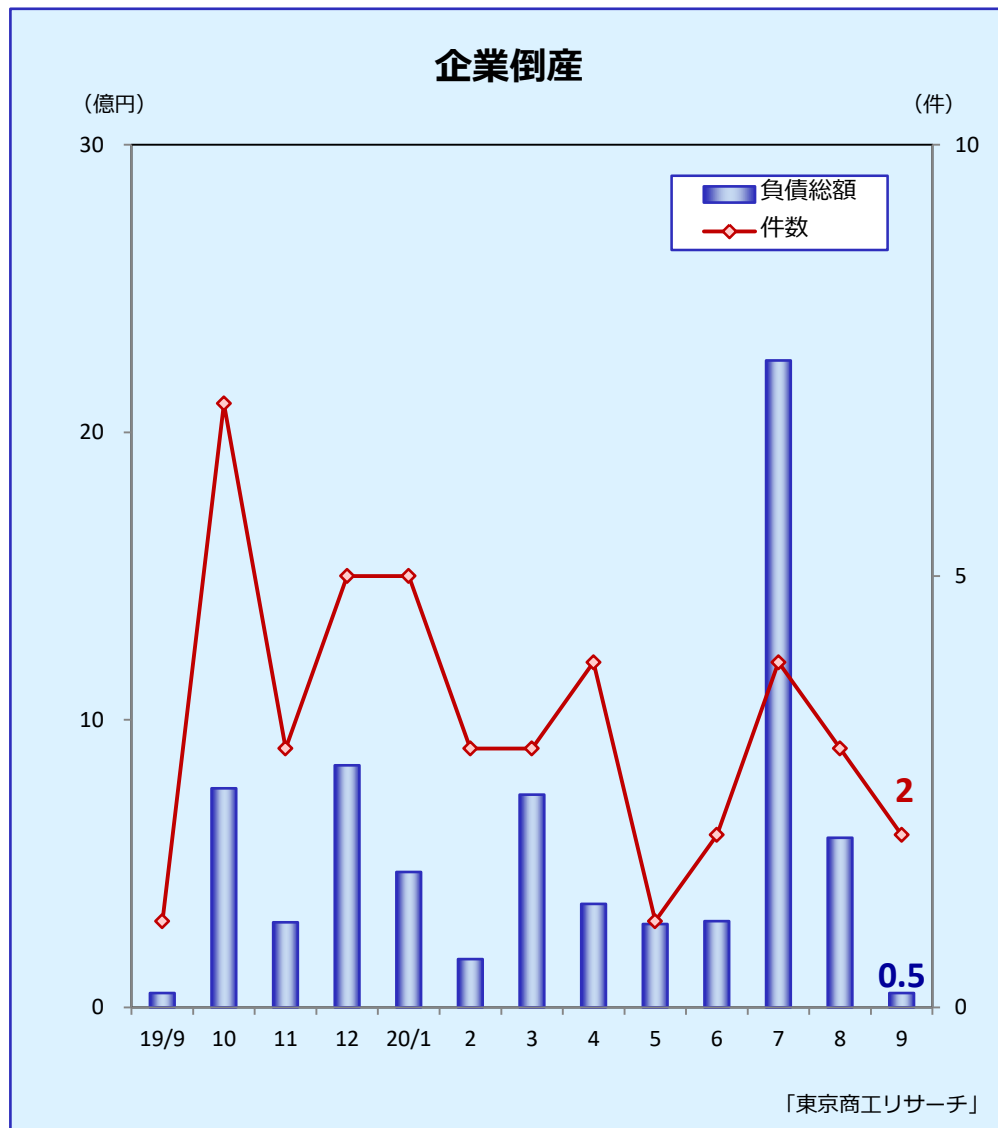


「山梨県労働局職業安定部」

### 【企業倒産】

2020年度上半期（20年4月～9月）の県内企業倒産（負債総額1千万円以上）は、件数が16件、負債総額が38億37百万円となった。

件数は前年と同数で、負債総額は前年同期比9億5百万円（30.9%）増加した。



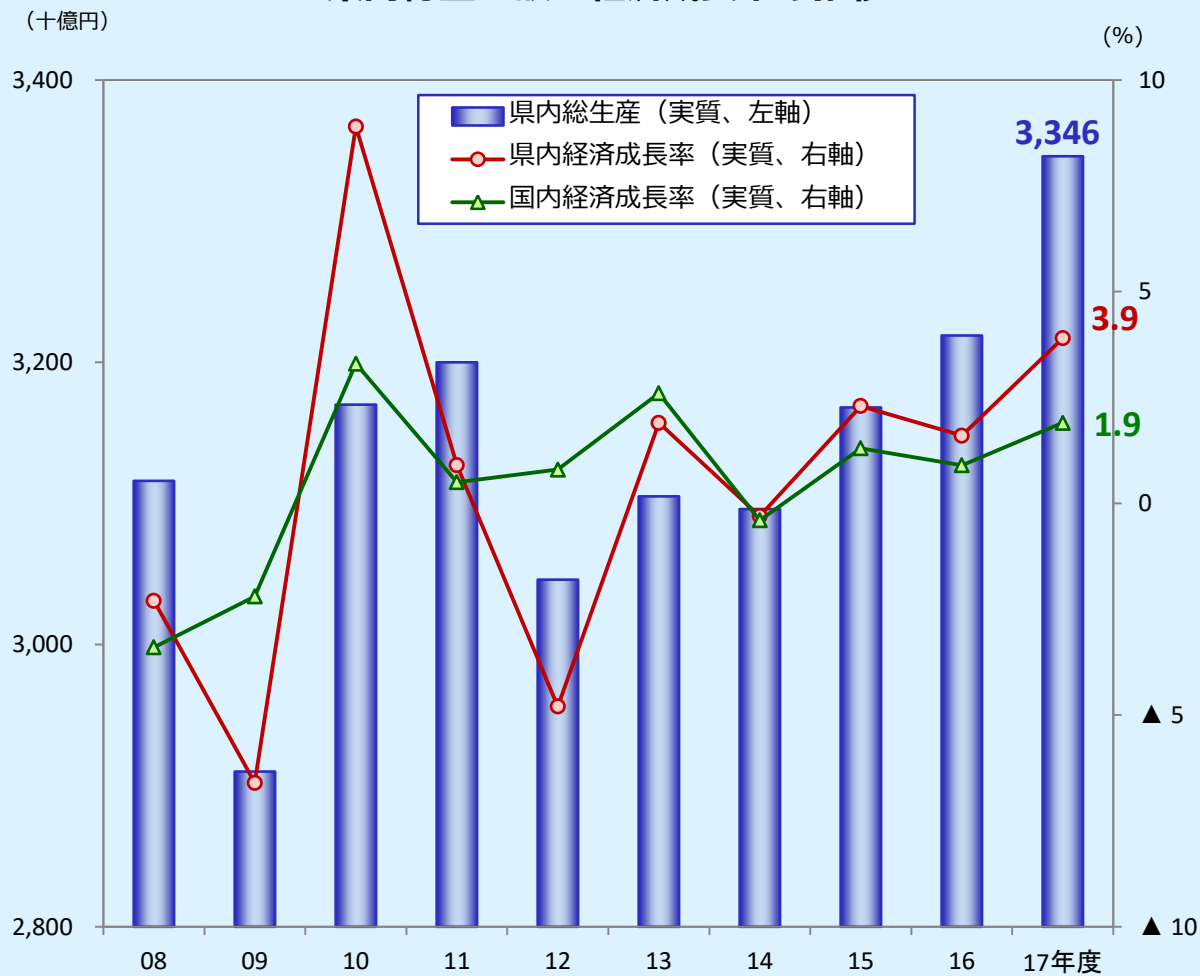


【山梨県経済の特性】

県内経済の実質成長率は、このところ緩やかな回復傾向をたどっている。

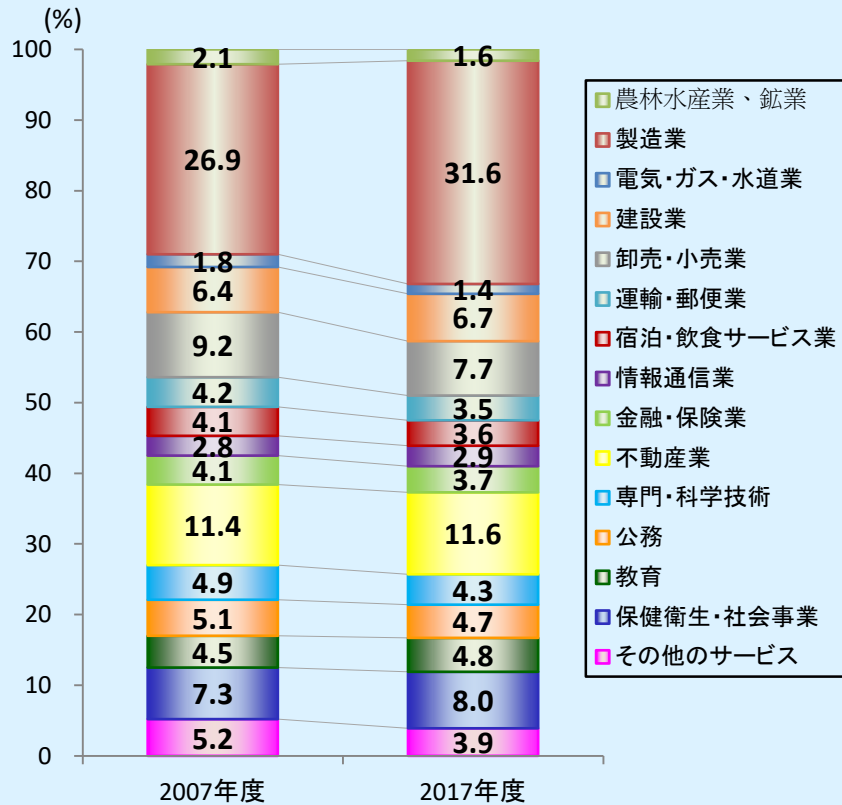
なお、日本経済研究センターの推計によると、山梨県の成長率（2011～2025年までの平均）は0.4%前後と、全国第34位となっている（2014年推計）。

県内総生産額・経済成長率の推移



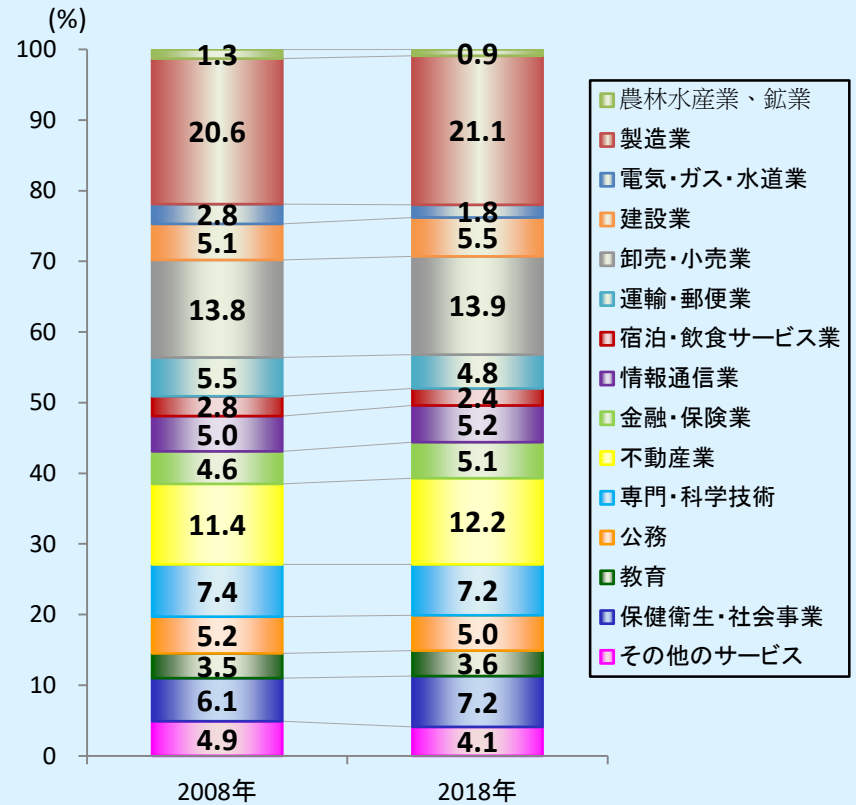
「内閣府 国民経済計算年報」、 「山梨県 県民経済計算年報」

### 山梨県の経済活動別県内総生産



「山梨県 県民経済計算年報」

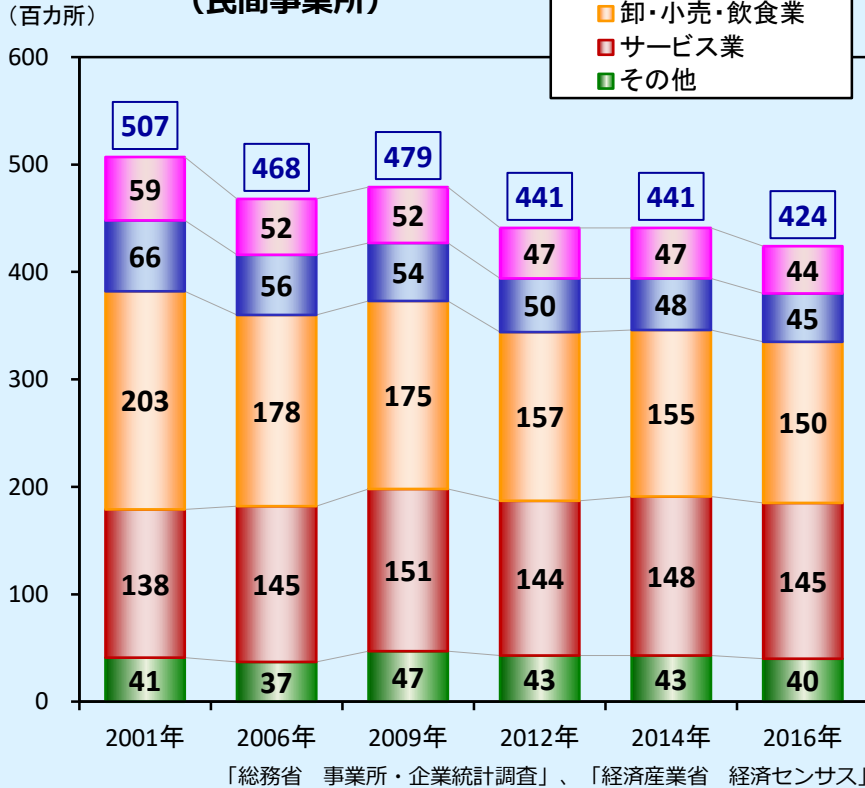
### 全国の経済活動別国内総生産



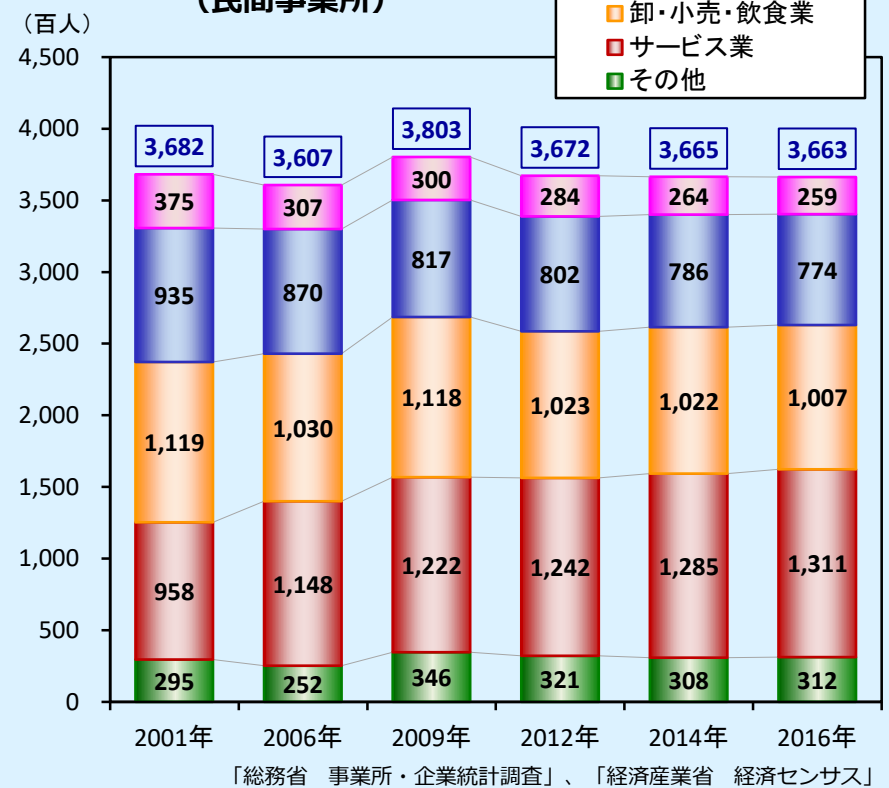
「内閣府 国民経済計算年報」

○ 産業別構成比を全国と比較すると、製造業のウエイトが高い。

### 県内産業別事業所数の推移 (民間事業所)



### 県内産業別従業者数の推移 (民間事業所)



#### 【事業所数・従業者数】

- 事業所数は、輸入品との競争による地場産業の減少や、中心市街地の衰退による小売業の減少などを要因に、1986年をピークに減少傾向。
- 従業者数は、生産効率の向上や事業所数の減少に伴う正社員の減少などを背景に、1996年をピークに減少傾向。
- こうした中、サービス業のうち「医療・福祉」の事業所数・従業者数が増加している。

※2009年以降は「経済センサス」の数値（事業所数、従業員数とも調査対象を拡大しており、2006年までのデータとの連続性はない）

### 【製造品出荷額等の推移】

- 山梨県の工業構造は、1982年の中央自動車道全線開通と相前後して機械工業の集積が急速に拡大し、現在では製造品出荷額等の約6割を占める。

#### <製造品出荷額等>

- 1982年：1兆834億円  
→ 2018年：2兆5,881億円（138.9%増）

#### <全体に占める機械工業の割合>

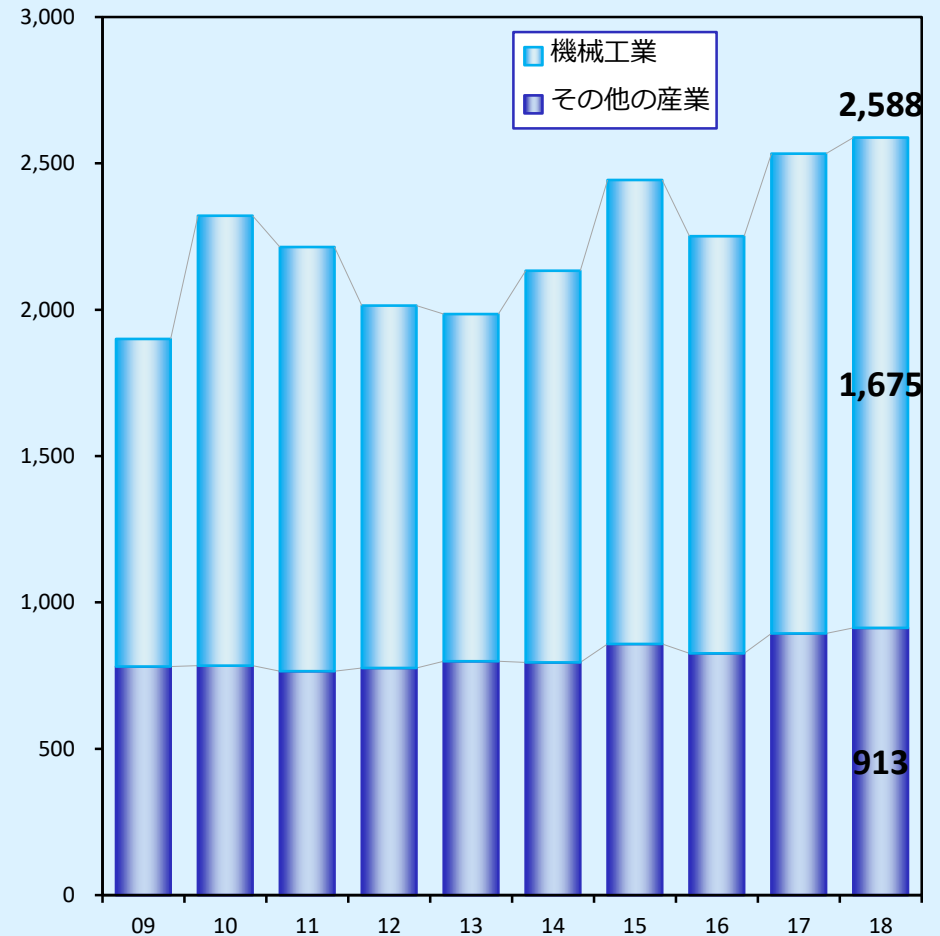
- 製造品出荷額等に占める機械工業の割合は64.7%(2018年)であり、全国の同割合46.2%と比較して高い。

#### 山梨県の製造品出荷額等の順位とリーディング産業の変遷

	全国順位	リーディング産業
1950年	40位	繊維
1970年	40位	繊維
1990年	33位	電気機械
2010年	33位	生産用機械
2011年	33位	電気機械
2015年	33位	生産用機械

### 県内製造品出荷額等の推移

(十億円)



「山梨県 工業統計調査結果」、 「経済産業省 経済センサス」

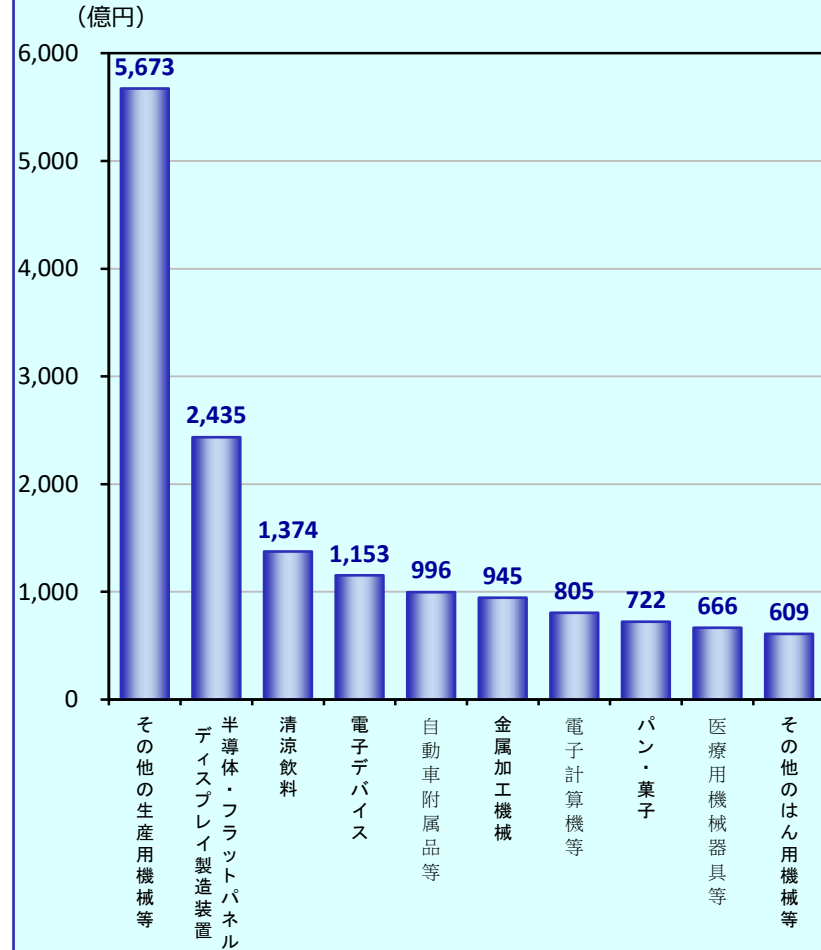
- 生産用機械、半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置等のウエイトが高い。
- このほかにも、情報通信機器向けの各種デバイス等、最先端のIT関連産業が集積している。
- 中小企業の技術水準も着実に上昇。  
ニッチマーケットながら国内・世界市場で高シェアを獲得する企業も存在。

#### 全国上位の生産品目（2018年実績）

品目	出荷額	全国シェア	順位
数値制御ロボット	2,791億円	74.8%	1位
ミネラルウォーター	717億円	38.8%	1位
巻上機	286億円	31.8%	1位
真空装置等	115億円	18.7%	1位
電気溶接機部分品等	98億円	24.5%	1位
工業計器部分品等	53億円	17.0%	1位
半導体・IC測定器	509億円	20.0%	2位

「2019年 工業統計調査」

#### 製造品出荷額上位10品目（2018年）



「2019年 山梨県 工業統計調査結果」

経済力基本指標				産業関連指標				生活関連指標			
項目	年次	数値	順位	項目	年次	数値	順位	項目	年次	数値	順位
総面積	2020年	4,465km <sup>2</sup>	32	民営事業所数	2016年	43,173か所	41	家計実収入 (勤労者世帯1世帯 当たり1か月平均)	2019年	615,009円	11
可住地面積比率	18年	21.4%	44	製造品出荷額等	18年	25,881億円	34	消費支出 (勤労者世帯1世帯 当たり1か月平均)	19年	328,322円	14
自然公園面積比率	18年	27.1%	8	同従業員1人当たり	18年	35,930千円	24	平均消費性向 (勤労者世帯)	19年	66.9%	27
総人口	19年	811千人	42	年間商品販売額	16年	18,827億円	42	自家用車保有台数 (軽自動車含む・人口千人当たり)	19年	668台	4
世帯数	20年	363千世帯	41	同従業員1人当たり	16年	31,868千円	33	公立図書館数 (人口1万人当たり)	19年	0.64か所	1
年少人口比率	19年	11.7%	33	農業産出額	18年	953億円	34	コンビニエンスストア数 (人口10万人当たり)	19年	56.6店	2
生産年齢人口比率	19年	57.5%	20	生産農業所得率	18年	44.7%	4	住宅地平均価格 (基準地価・1m <sup>2</sup> 当たり)	19年	24,300円	39
老年人口比率	19年	30.8%	24	新設住宅着工戸数	19年	4,841戸	42	持家比率	18年	70.2%	15
人口増加率	19年	△0.80%	33	新設住宅1戸当たり 床面積	19年	102.9m <sup>2</sup>	3	教育費割合 (勤労者世帯対消費支出)	19年	2.9%	46
県内総生産額(実質)	17年度	33,458億円	40	公共工事請負契約額	19年	1,340億円	43	大学等進学率	19年	55.5%	11
経済成長率(実質)	17年度	3.9%	4	建築着工物床面積	19年	937,078m <sup>2</sup>	38				
1人当たり県民所得	17年度	2,973千円	20	有効求人倍率	19年	1.42倍	33				

○ 総人口全国42位、県内総生産40位など、規模的には下位に位置するが、従業員1人当たりの製造品出荷額など、単位当たりの比率で見ると中位にランク。経済活動、生活水準等は比較的良好な水準にあるといえる。